



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2024年

10月

No.319



若い世代へ福祉教育。
益城町の未来をつなぐ
福祉教育。

10月の社協だより

今月号の表紙は「福祉教育活動」です。
写真は広安小学校での認知症サポーター養成講座で、熊本学園大学の木原さん（実習生）が説明している場面です。

他にも当協議会が行った事業で「ワークキャンプ」や「共同募金運動」を紹介しています。
また、社協情報には10月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

もくじ

- P2 高齢者相談・地域福祉委員／地域福祉課
福祉座談会／在宅福祉課
- P3 認知症事業／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 ワークキャンプ／地域福祉課
- P5 共同募金運動／在宅福祉課
- P6 社協情報／もの忘れ相談室、CSW など
- P8 地域サロン／惣領2町内、下寺中灰塚、川内田、中尾
地域を支えるふくしの輪／能登半島地震災害支援報告

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

高齢者相談・地域福祉委員

地域福祉課

第2回例会を開催

9月5日(木)に開催し、今回は研修で「地域の医療資源を知ろう」と題し、益城町で訪問診療を行っているおられる、まじき在宅診療所の藤本哲広先生に講話をいただきました。委員から「普段から相談などを受ける中でいろんな地域資源を知っておくことはとてもた

めになる。色々知らんこともあるね」といった感想がありました。その後、東部地区と西部地区に分かれ意見交換会を行いました。それぞれの地域性もあり、担当件

数や状況に違いもありますが、各委員が工夫し、考慮しながら訪問されている様子をお互いで話し合いました。

また、7月から畝農八重子委員(辻団地)、8月から森内和代委員(安永1・2町内)が新たに委嘱され、現在36名の委員で活動しています。高齢者相談・地域福祉委員とは、担当地域の高齢者とその家族の悩みや心配ごとなどを専門機関につなぐ役割を担っています。



講師の藤本先生



例会の様子

福祉座談会

在宅福祉課

広崎2町内、川内田で開催

広崎2町内福祉座談会(8月1日)

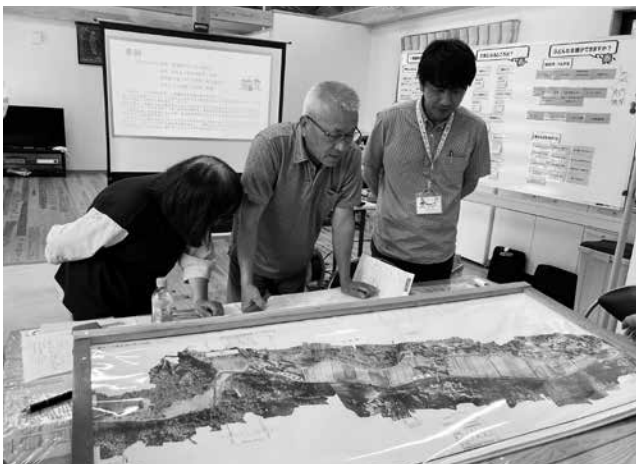
川内田福祉座談会(8月6日)

広崎2町内では、区長、民生児童委員、高齢者相談・地域福祉委員ともに見守り対象者の把握をされており、常に新たな要見守り者はいないかアンテナを張られています。今回の座談会でも見守りが必要と思われる新たな方について、民生児童委員と高齢者相談・地域福祉委員で情報共有していただきました。

川内田地区では、35世帯の地域で、区長、高齢者相談・地域福祉委員ともに住民同士も顔なじみの関係ができており、畑仕事や道端で会えば話をして地域の中の情報は共有できているという話でした。また、今年の6月から毎週火曜日と土曜日の12時30分から川内田橋付近と東野天満宮付近に移動販売が来ており、利用していただければと話されていました。



広崎2町内福祉座談会の様子



川内田福祉座談会の様子

会員紹介 ～タスキ～

No.49

氏名／福永連さん
所属／剪定作業班



高年齢者の生きがい づくり シルバー人材センター

会員登録のきっかけ
生活にメリハリをつけたくて何かできることを探していたところ、募集の記事を見て、作業の種類などの説明を聞くうちに自分でもできそうだと感じ、登録しました。
活動をとおして思うこと
自宅の庭木の剪定は昔からやっております、剪定作業なら道具もあるのでできる作業と思ひ剪定作業班として活動しています。依頼によって様々な庭木を剪定するため、初めは不安もありましたが、慣れている会員さんに教えてもらいな

ら、少しずつ自分でできる作業範囲が広がっています。
趣味
毎朝のウォーキングを続けます。朝30分から1時間歩くと、その1日調子よく過ごせるため、天候の悪い日以外は歩くようにしています。
これからやりたいこと
地域への貢献と剪定技術を磨くことが楽しく感じています。自分の体の無理のない範囲で、できるだけ長く活動を続けたいと思っています。



剪定作業の様子

キャラバン・メイト 連絡会

8月1日(木)に益城町のキャラバン・メイトが集まり連絡会を行いました。
「キャラバン・メイト」とは、地域で認知症に対しての正しい知識や理解を広めるために、全国で決められた研修を受けられ、認知症サポーター養成講座の講師役となられた方たちのことです。

認知症事業

地域福祉課

益城町でも約20名が活動され、小中学校や企業など町内のあらゆるところで認知症サポーター養成講座に協力していただいています。
今回は、県認知症介護指導者の会の松永美根子先生に「キャラバン・メイトの心得」と題して、メイトの自己研鑽のための研修を行ったあと、9月から始まる小学校での認知症サポーター養成講座の内容を検討したり、役割を考えたりと話し合いを行いました。キャラバン・メイトの一人ひとりが役割を真剣に考え、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。



キャラバン・メイトは地域住民や町内の福祉施設職員で構成されています



講師の松永美根子先生

ワークキャンプ

「福祉のお仕事」を体験

夏休み期間中の8月に小学校4年生から社会人を対象にワークキャンプを実施しました。この事業は、実際に福祉施設等での体験を通して福祉に関する興味関心を持っていただくことを目的に年1回実施しています。

今回も町内の福祉施設等に協力をいただき、11か所の福祉施設等に25名が参加されました。ケガや事故もなく無事終了することができました。

参加された方に感想文を提出していただいていますので、その一部をご紹介します。



ワークキャンプがんばります(シルバーライフ熊本)

ワークキャンプ体験の感想

シルバーライフ熊本での体験

職員さんの利用者さんへの接し方は、ゆっくりで大きい声で話している分かります。この経験を生活に活かしたいです。

特養花へんろでの体験

特に印象に残ったことは、職員さんが利用者の方々に楽しみながら過ごしてほしいとの願いが、行動で伝わってきました。また参加したいです。

くりけつとくりけつとでの体験

利用者さんから「あなたとお話していると、とても楽しい」と言われうれしかったです。それと職員さんが優しく教えてくれたので分かりやすかったです。ありがとうございました。

福富シラカシサロンでの体験

最初は緊張したけど、勇気を出して声をかけると笑顔で答えてくれました。たくさんの笑顔が見れたり交流することができて良かったです。

グリーンヒルまじきでの体験

みんな同じ場所で協力して暮らしていました。家庭的に生活できてすごいなと思いました。すごく楽しかったです。



施設内の器具を使った体験(ほっとプラス)



高齢者疑似体験でのスイカ割(花へんろ)

事前学習会での車イス体験を活かしています(ほっとふあみりい)



体験だけでなく座学での学習もありました(熊東園)



施設内の清掃。お家でもできるかな?(そよかぜ福祉作業所)



コップを洗っています(いこいの里)



参加者へお菓子配り(サロン)



食事前の手指消毒(ひろやす荘)



社会人も参加(パワーク熊本)

共同募金運動

10月から始まりま

●共同募金とは

共同募金は、昭和22年から民間主体の運動として始まりました。当時は、戦後半減した社会福祉施設の支援に充てられました。

現在は、社会福祉法のもと地域福祉の推進＝じぶんの町を良くするしくみとして活用されています。今年も10月1日～12月31日まで募金運動を行っています。

●募金の使い道

集められた募金は、全額熊本県共同募金会へ送金しています。そして、翌年度に広域配分と地域配分に分けて配分されています。

広域配分は、熊本県内の社会福祉施設やNPO法人、保育所等に配分されています。地域配分は、募金を集めた市町村の社会福祉協議会へ配分されています。

●非常時にも活用されています

東日本大震災や平成28年熊本地震、昨今頻発している大雨や台風災害時にも活用されています。集まった募金の一部を災害等準備金として活用しています。

●益城町共同募金委員会について

益城町共同募金委員会は、熊本県共同募金会から益城町社会福祉協議会が業務を受けて活動しています。

10月から「赤い羽根共同募金」、11月から「歳末たすけあい募金」を実施し、地域の皆さんや企業にご協力いただいています。

●令和5年度実績 ～令和5年度共同募金実績～

赤い羽根共同募金

	募金種別	金額
1	戸別募金	3,326,500円
2	法人募金	1,305,234円
3	職域募金	182,883円
4	ワッペン募金	101,930円
5	自販機募金	139,808円
6	その他募金	148,611円
	小計	5,204,966円

歳末たすけあい募金

	募金種別	金額
1	戸別募金	2,257,100円
2	竹筒募金	263,943円
3	その他募金	1円
	小計	2,521,044円

共同募金合計 7,726,010円



●令和5年度実績 ～令和5年度共同募金配分事業実績～

令和5年度地域配分金額 6,117,852円

	事業名	詳細	金額		事業名	詳細	金額
1	ワークキャンプ	福祉体験学習	38,300円	9	小地域活動配分金	地域活動助成	335,855円
2	親子講座	未就園の親子対象	85,038円	10	共同募金報告会	区長対象の報告会	9,038円
3	ボランティア交流会	団体交流事業	141,572円	11	福祉団体助成	7福祉団体	1,855,880円
4	地域サロン助成	活動助成	907,000円	12	ボランティア協力校	町内7小中学校	350,000円
5	地域サロン応援隊養成講座	住民対象の講座	60,000円	13	歳末たすけあい見舞	700世帯	1,126,930円
6	福祉団体親善スポーツ大会	福祉団体交流事業	59,720円	14	広報・その他	広報誌等	884,870円
7	在宅介護者のつどい	介護者交流事業	8,800円				
8	ボランティアのつどい	社協まつり	274,964円		合計		6,137,967円

社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／10月15日（火）

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所／役場1階相談室

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566



◇コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

コミュニティソーシャルワーカーとは、

どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮、ひきこもりなどの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中での困りごとはコミュニティソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター

現在、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談でも構いません。興味のある方は事前連絡をお願いいたします。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所
（住所／益城町惣領1470）

☎096-289-6092

問／シルバー人材センター



◇第2回社協まつり出展ブース募集

社協まつり開催にあたり展示、販売、活動体験などの出展ブースを募集します。

開催日時／12月21日（土）10時から14時

場所／保健福祉センター

（住所／益城町惣領1470）

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日
10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
10月9日(水)	松尾 一 (行政書士)	本田龍子 (人権擁護委員)	西島隆子 (民生児童委員)
10月16日(水)	松尾英美 (司法書士)	後藤奈保子 (人権擁護委員)	吉村眞弓美 (民生児童委員)
10月23日(水)	松尾英美 (司法書士)		高本征子 (民生児童委員)
10月30日(水)	松尾 一 (行政書士)		岸崎澄英 (民生児童委員)
11月6日(水)	松尾英美 (司法書士)		高田義視 (民生児童委員)

◇在宅介護者のつどい

自宅で家族等の介護をされている方を対象に介護に役立つ講話や介護者同士の交流、情報交換を目的に開催します。

日時／11月22日(金) 10時から

場所／復興まちづくりセンターにじいろ

住所／益城町宮園702

内容／10時から 介護に必要な栄養の話

12時から マシキーナ(介護者交流会)

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇火の国ボランティアフェスティバル in 阿蘇

県下における地域ボランティア活動の一層の振興を図るため、今回は阿蘇郡西原村で開催されます。

日時／11月30日(土)

場所／西原村総合体育館

参加者／県内ボランティアグループ、

一般ボランティア

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇ふれあい交流会

益城町内にお住まいの65歳以上の一人暮らしの方を対象に開催します。

日時・対象校区・場所／

①10月16日(水)・福田・津森校区・津森分館

②10月25日(金)・広安西校区・ミナテラス

※いずれも13時30分から開始です。

お住まいの地域によって開催日が異なりますので、ご注意ください。参加の申し込みやお問い合わせはお住まいの地域の民生児童委員または当協議会までお願いします。皆さんの参加をお待ちしています。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇つばやきサロン

各地域サロンでの活動で、参加者の最近の想い(つばやき)をご紹介します。

週3で 友に誘われ

お互い様 許されながら

孫とゲーム 手抜きせず

健康で サロンに参加

明日しよう いつまでたっても

目の手術 見えすぎですよ

今もなお 若い若いと

まだ思う

シワとシミ

町づくり

ムキになる

分かります

分かります

分かります

分かります

分かります

分かります

問／地域福祉課

☎096-214-5566

【表紙の人】

◇実習生活動報告

熊本学園大学社会福祉学部の木原愛菜さんが8月19日～9月25日まで社会福祉士の資格取得のため実習にいられていました。実習は終了していますが、ご紹介させていただきます。



氏名／木原 愛菜

趣味／景色がきれいな場所に行くこと

好きな食べ物／海鮮料理

益城町の良いところ／

とても優しく温かい人が多く、安心できる場所です。公園や遊び場も多いため、子育て世帯でも住みやすいと思います。

社会福祉士の資格取得を目指した理由／

子どもから高齢者が、日常生活の中で不安に感じたり、助けを必要としている時に全ての人が笑顔で生活できるように支え、力になれる人でありたいと思ったからです。

将来の目標／

昔からお世話になった益城町の人が、笑顔で幸せと感じられる生活が送れるよう、社会福祉士の資格を取り、恩返しすることです。

実習の感想／

様々な事業、社会資源について学習することはもちろん、サロンへの参加または企画作成や実施を通して地域の方と交流し、接することで笑顔を共有できることが印象に残っています。また助け合うことができるなど、地域のつながりや人と人とのつながりの大切さを感じることができました。まだ学習が必要など多いので、少しでも多く知識を増やせるよう集中して取り組みます。

実習前と後での社協のイメージ／

「社会福祉協議会とは」と聞かれた時、地域を支えているものと答えていましたが、今では地域を支えるものでもあり、益城町社会福祉協議会では様々な事業とともに、困っている方の早期発見、支援に努めており、おにぎり食堂やサロン、認知症サポーター養成講座などを通じて、子どもから高齢者まで幅広い方々の生活を支えながら地域をより良くしていくというイメージを持つようになりました。

実習期間中、地域サロンなどの事業参加や個別支援計画作成などをされました。今後の活躍に期待です。

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

惣領2町内ふれあいサロン



場所／惣領2町内公民館／日時／奇数月第4木曜日 10時
偶数月第4水曜日 10時

下灰サロン



場所／下寺中灰塚公民館／日時／毎月第3水曜日 10時

川内田朝来サロン



場所／川内田公民館／日時／毎月第3金曜日 10時

中尾サロン



場所／中尾公民館／日時／毎月第1金曜日 13時30分

地域を支えるふくしの輪

能登半島地震災害支援報告

令和6年1月1日に発生した石川県を震源地とする能登半島地震において、当協議会では日本赤十字社と共同募金会を通じた災害義援金の募集を行っています。

令和6年8月末日現在で日本赤十字社で476,717円、共同募金会で96,379円の義援金が集まっています。義援金は日本赤十字社熊本県支部、熊本県共同募金会を通じて被災地へ送金しています。

また、石川県珠洲市の災害ボランティアセンターへこれまで3名の職員を派遣しています。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動をご紹介します。



珠洲市災害ボランティアセンター活動

2024年

10月

No.319

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

